

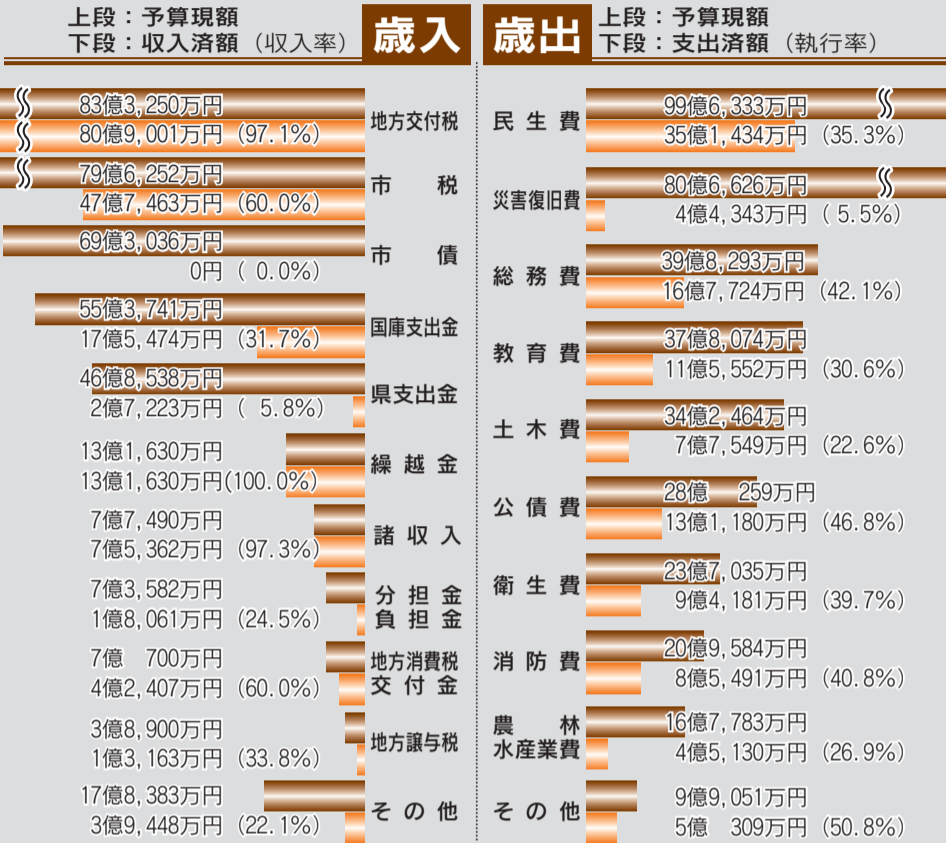
財布の中身は？ (P1からの続き)

平成23年度上半期予算執行状況

(4月～9月)

一般会計

予算現額 391億5,502万円
収入済額 180億9,232万円 (収入率46.5%)
支出済額 116億2,893万円 (執行率29.7%)



平成22年度決算の概要

特別会計

特別会計は、特定の収入をもって事業を行う場合に、一般会計と分けて経理する会計です。平成22年度は10会計となります。

Table with 4 columns: 会計, 歳入, 歳出, 差引額. Lists various special accounts like National Health Insurance, etc.

企業会計

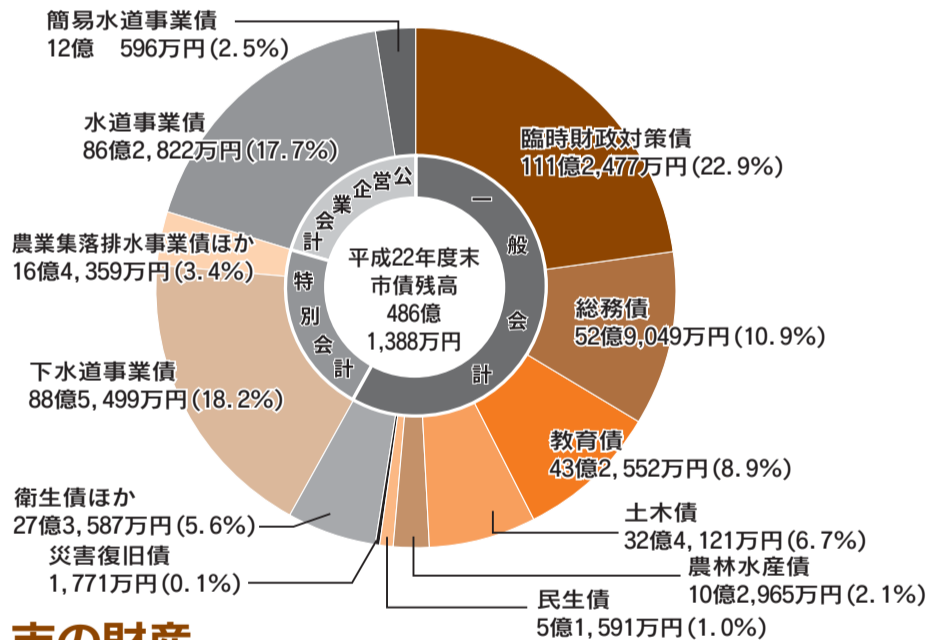
公営企業会計は、民間企業と同じような経営をしている事業の会計で、水道事業と簡易水道事業の2会計があります。

Table with 4 columns: 会計, 収入, 支出, 差引額. Lists public utility accounts like Waterworks, etc.

※不足額は損益勘定留保資金などで補てんしました。会計ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

市債の状況

市民1人当たりの市債残高 57万6,561円



市の財産



特別会計

Table with 6 columns: 会計, 予算現額, 収入済額, 収入率, 支出済額, 執行率. Lists 10 special accounts.

公営企業会計

Table with 7 columns: 会計, 収入 (予算現額, 収入済額, 収入率), 支出 (予算現額, 支出済額, 執行率). Lists public utility accounts.

本市の健全化判断比率

Table with 4 columns: 項目, 市の健全化判断比率, 早期健全化基準, 財政再生基準. Shows ratios for actual deficit, etc.

本市の資金不足比率

Table with 3 columns: 会計名, 資金不足比率, 経営健全化基準. Shows funding gap ratios for various accounts.

健全化判断比率とは、自治体の財政の健全性を示す指標であり、平成22年度決算においてすべての比率で早期健全化基準を下回り、「健全段階」にありました。また、公営企業の経営の健全化を示す資金不足比率は、平成22年度決算において資金不足を生じた公営企業はなく、本比率の該当はありませんでした。

健全化判断比率、資金不足比率、引き続き健全な財政運営を維持する比率。実質公債費比率、一部事務組合を含めた、一般会計などが負担する元利償還金と準元利償還金の標準財政規模に対する比率。また、公営企業の経営の健全化を示す資金不足比率は、平成22年度決算において資金不足を生じた公営企業はなく、本比率の該当はありませんでした。

健全化判断比率、資金不足比率、引き続き健全な財政運営を維持